

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
基礎講座13							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・昼間部	3年	3期	平地 治美				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活			座学	1	10	
科目概要							
鍼灸を受けに来る患者の多くは何かしらの薬剤やサプリメント等を服用していることがほとんどである。服用している薬によっては鍼灸治療で気を付けなくてはならない場合もある。薬の知識を持つことで安全に臨床をし、患者と信頼関係を築くことができる。そのために必要な知識や情報の収集の手段を習得する。							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> 本講義を学習することで達成されるべき目標	鍼灸臨床において安全な治療をし患者と信頼関係を築くために必要な薬の基礎知識を習得し、概説できる。患者から薬について質問を受けた際に、正しい知識をもとにをもとに説明する能力を身につける						
	<b>到達目標(SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	安全で適切な治療を行えるようになるために、患者が服用している薬について理解できるようになる。そのために 1、基本的な薬の作用機序について理解する。 2、多くの患者が使う薬とその作用、副作用を挙げることができる。 3、鍼灸治療との相互作用、緊急の処置について理解する。 4、薬について自分の言葉で患者の理解能力に合わせて解説できるようになる。					
履修に必要な予備知識や技能							
教科書・参考書							
受講上の注意							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェンクテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	ガイダンス:今後の授業についての流れを確認し共有する。アンケートを実施し薬に対する意識や経験をクラスメートと共有する						
第2回	総論①薬とは:処方箋やお薬手帳などの一般的な常識についての知識を習得する。						
第3回	各論①感染症と薬						
第4回	各論②鎮痛剤						
第5回	各論③生活習慣病(高血圧、脂質異常改善薬など)						
第6回	各論④生活習慣病(糖尿病薬とその合併症)						
第7回	各論⑤皮膚病						
第8回	各論⑥婦人科						
第9回	各論⑦美容(サプリメント 化粧品)						
第10回	テスト						
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
hiraji-t@nihonisen.ac.jp							